

## シード マルチフォーカルO<sub>2</sub> ノア

### 【警告】

#### 1. 使用方法

- 1) コンタクトレンズを適切に使用しても次のような眼の障害の可能性があるため、定期的に眼科医の検査をお受けください。(レンズの種類、使用期間、眼の状態などにより個人差があります)
  - (1) 長期間の使用により、角膜内皮細胞の減少が早まったり、巨大乳頭結膜炎などが発症する可能性
  - (2) 角膜への酸素供給が低下することにより、角膜浮腫や血管新生などが発症する可能性
  - (3) 角膜潰瘍などの眼障害が発症する可能性
- 2) 特にご注意ください
  - (1) コンタクトレンズやケア用品ご使用の前には、必ず添付文書をよく読み、表現や内容で分からないところがあれば必ず眼科医に相談し、よく確認してからご使用ください。
  - (2) 添付文書は大切に保管してください。

コンタクトレンズは眼に直接のせて使用するものです。コンタクトレンズやケア用品の取扱方法を誤ると、角膜潰瘍などの重い眼障害につながる場合があります。また、治療せずにそれを放置すると失明してしまうこともあります。

- ① 連続装用の場合、連続装用承諾書と管理手帳の内容を守ること  
眼科医により連続装用を許可された場合は、連続装用承諾書と管理手帳に記載された内容を守ってください。
- ② 装用時間を正しく守ること  
装用時間(連続装用時間)には個人差があります。眼科医から指示された装用時間(連続装用時間)を必ず守ってください。
- ③ 取扱方法を守り正しく使用すること  
コンタクトレンズやケア用品の取扱方法を誤ると眼障害につながります。コンタクトレンズやケア用品(特にレンズケース)は常に清潔に保ち、正しい取扱方法を守ってください。
- ④ 定期検査は必ず受けること  
自覚症状がなく調子よく装用していても、眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくとも眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。
- ⑤ 少しでも異常を感じたら直ちに眼科医の検査を受けること  
レンズをつける前に、毎日ご自分で眼やにや充血がないか、またレンズをつけた後も、異物感などがないか確認し、少しでもこれらの異常を感じたら、すぐに眼科医の検査を受けてください。
- 3) 万が一、破損などの不具合があるレンズを装用してしまったり、レンズが装用中に破損した場合は、自覚症状の有無にかかわらず、すぐに眼科医の検査を受けてください。

### 【禁忌・禁止】

#### 1. 適用対象(患者)

次のような疾患のある方は、レンズの装用ができません。またレンズの装用に影響を及ぼす場合がありますので、疾病、薬剤の服用や点眼、生活環境などを眼科医に伝え、その指示に従ってください。

- 1) 前眼部の炎症 2) 眼感染症 3) ぶどう膜炎 4) 角膜知覚低下
- 5) 眼瞼異常 6) レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患
- 7) その他のレンズ装用に適さない疾患
- 8) その他、医師が装用不適と判断した場合

### 【形状・構造及び原理等】

#### 1. 組成

- ・ 構成モノマー : フッ素含有メタクリレート系化合物  
ケイ素含有メタクリレート系化合物
- ・ 着色剤 : フタロシアニン系着色剤

### 【使用目的、効能又は効果】

視力補正

### 【操作方法又は使用方法等】

#### 1. 終日装用及び連続装用の別

- ・ コンタクトレンズは必ず眼科医の指示に従いご使用ください。
- ・ 終日装用又は連続装用(最長装用期間：7日間)

#### 2. レンズ着脱

##### 1) レンズを取扱う前に

- ① レンズをキズつけないように爪を短く切り、先を丸くなめらかにしてください。
- ② レンズに触れる前に手指を石けんで洗い、石けん分が残らないように十分すすいでください。

##### 2) レンズの取り出し方

初回開封時は中の保存液を完全に捨て、ボトル・レンズともに水道水で十分に洗浄してから使用を開始すること。(保存液と他のケア用品の混合や、また他のケア用品と混合しない場合においても保管状態によっては、液の粘性が高くなったり、沈殿物が発生する場合があります)

##### 3) レンズのつけ方

- ① 利き手の人差し指の先にレンズをのせます。
- ② 同じ手の中指で下まぶたのまつ毛の生え際を下げ、もう一方の手の人差し指で上まぶたのまつ毛の生え際を上げます。
- ③ 鏡を見ながら大きく眼を開け、黒眼にレンズをのせます。
- ④ レンズが黒眼にのつたら、押さえている指をゆっくり離し、軽く眼を閉じてレンズを安定させます。
- ⑤ レンズをつけた眼と反対の眼を手で隠し、見え方を確認します。
- ⑥ もう一方の眼にも同じ方法でレンズをつけます。

##### 4) レンズのはずし方

- ① 鏡を見ながら両眼を大きく開け、レンズが黒眼にのっていることを確認します。
- ② レンズをはずすと眼と反対側の手のひらを眼の下にあて、はずす眼と同じ側の手の人差し指で目尻を耳側やや上方へ引っ張り、軽くまばたきします。上下のまぶたに挟まれ落ちてきますので、手で受け止めてください。

#### 3. 装用スケジュール

装用スケジュールには個人差があるので、眼科医の指示に従ってください。

##### 1) 終日装用の場合

###### (1) 初回装用時

- ・ 以下の例を参考に装用する時間を徐々に延ばし、少しずつレンズに慣れてください。

1日目：8時間まで	注) 眠る前は必ずレンズをはずすこと
2日目：10時間まで	
3日目：12時間まで	
4日目：14時間まで	
5日目：16時間まで	
6日目以降：終日装用(朝起きてから夜眠る前までの装用)	

###### (2) 装用中断後の再開時

- ・ 1週間未満装用を中断した場合は、中断前と同じ装用時間で装用を再開してください。
- ・ 1週間～1ヶ月間装用を中断した場合は、8時間の装用から再開し、徐々に装用時間を延ばして行ってください。
- ・ 1ヶ月以上装用を中断した場合は、必ず眼科医の検査を受け、8時間の装用から再開してください。

##### 2) 連続装用の場合

- ・ 眼科医から指示された連続装用日数を超過して装用しないでください。
- ・ 連続装用最終日には必ずレンズをはずして洗浄し、レンズを装用しないで就寝してください。

###### (1) 初回装用時

- ・ 前記終日装用スケジュールを参考に徐々に装用時間を延ばし、1週間以上の終日装用を行った後、眼科医の指示に従い、連続装用を開始してください。
- 1日目～7日目 : 8時間～終日装用→検査
- 8日目～9日目 : 24時間の連続装用→検査
- 10日目～30日目: 2～3日間連続装用のサイクルを約3週間  
→この期間中1週間毎に検査
- 1ヶ月目～ : 1週間(6晩)の連続装用→以後1ヶ月毎の定期検査

###### (2) 装用中断後の再開時

- ・ 1週間以上装用を中断した場合は、1日8時間の装用から徐々に装用時間を延ばして行ってください。
- ・ 連続装用を再開するときは眼科医の承諾が必要です。必ず眼科医の検査を受けてください。

#### 4. レンズケア

レンズケアとは、コンタクトレンズを安全・快適に装用する上で欠かすことのできないレンズの洗浄・すすぎ・保存などのお手入れのことを言います。コンタクトレンズは、装用時には涙液中のタンパク質・脂質が付着し、取扱い時には手指を介して汚れが付着することがあります。レンズケアを怠るとレンズに汚れが蓄積し、眼障害やレンズ素材の劣化などをおこすことがありますので、レンズ装用後は必ずレンズケアを行ってください。

- 1) ケア用品は弊社指定のものを使用してください。
- 2) レンズの汚れ方には個人差があります。汚れやすい方、涙の少ない方、アレルギー体質の方、脂性の方、及び連続装用の場合は、眼科医の指示に従い、「マックスケア こすり洗いクリーナー」のような微粒子入りクリーナーや「ジェルクリン」などのこすり洗い専用洗浄液を使用してください。又は、月1回以上弊社推奨のタンパク除去剤を併用してください。(推奨タンパク除去剤については販売元までお問い合わせください) ※塩素系強力クリーナーは使用できませんので、ご注意ください。
- 3) ケア手順の詳細については、各ケア用品の説明書(表示事項・添付文書)を必ずお読み下さい。

## 5. 定期検査

眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

### 1) 終日装用の場合

装用開始日から1週間後、1ヶ月後、3ヶ月後、以降3ヶ月毎

### 2) 連続装用の場合

連続装用開始日、連続装用を開始した翌日、1週間後、1～2週間後、1ヶ月後、以降1ヶ月毎

## 【使用上の注意】

### 1. 眼の安全を守るための注意

- (1) 装用前にレンズに破損、変形、キズ、異物や汚れの付着等の異常がないか点検し、不具合があった場合には決して装用しないでください。
- (2) 点眼薬の使用については必ず眼科医の指示に従ってください。
- (3) レンズ装用中は眼を強くこすったり、押しついたりしないでください。
- (4) 自分用のレンズ以外は使用しないでください。
- (5) レンズの保存には決して井戸水や水道水を使用しないでください。井戸水や水道水中のアカンアメーバにより重い眼障害を発生する危険性があります。レンズの保存には必ず指定のケア用品をご使用ください。

### 2. 連続装用の注意

- (1) 連続装用は、必ず眼科医の指示で始めてください。
- (2) 連続装用は終日装用に比べて眼に対する負担が大きいため、ご使用にあたっては特に注意が必要です。毎日鏡でチェックすることを習慣づけ、異常が見られた場合はすぐに装用を中止し、眼科医の診察を受けてください。

### 3. レンズを破損、変形、キズ、異物や汚れ等から守るための注意

- (1) 爪を短く切り、先を丸くならめかしてください。
- (2) レンズを取扱う際には、手指を石けんでよく洗い、十分にすすいでください。
- (3) レンズを取扱う前には、明るく清潔な場所に、きれいなタオル・ハンカチなどを敷いてください。
- (4) レンズはお化粧前に装用してください。
- (5) レンズを強く押しついたり曲げたり裏返したりしないでください。
- (6) レンズは親指と人差指の腹で軽く持ってください。
- (7) レンズが落ちたときは指先を濡らしてレンズを吸い付けるようにして拾ってください。
- (8) ハンカチ、メガネ拭き、ティッシュペーパーなどでこすったり拭いたりしないでください。
- (9) レンズに化粧品、ヘアスプレー、ベンジン、アルコール、シンナー等の薬品・油類をつけないでください。
- (10) レンズを熱いお湯につけたり、高温の所に置かないでください。
- (11) レンズを乾燥させないでください。
- (12) レンズを凍結させないでください。
- (13) レンズをレンズケースの縁や蛇口にあてないでください。
- (14) レンズ形状に影響を与えるようなレンズケースは使用しないでください。
- (15) レンズをレンズケースのホルダーの収納位置に収めるとき、レンズでホルダーを広げるとレンズの破損、変形の原因になります。
- (16) レンズを指に持ったまま、ケア用品、レンズケース等のキャップを開け閉めしないでください。
- (17) レンズケースはいつも清潔に保ってください。汚れが目立つ場合には、交換してください。
- (18) レンズを唾液でぬらさないでください。

### 4. 装用時の注意

- (1) 読書などの作業は十分に明るい環境で行ってください。暗い場所では光量低下により見にくいことがあります。
- (2) 車を運転する際、夜間及びトンネルなど明るさが変化しやすい環境下では、見にくくなる場合がありますので、十分ご注意ください。
- (3) 見え方に慣れるまでは、自宅などの安全な場所で使用してください。
- (4) 病気や事故で入院したり療養する場合はレンズを使用できないことがありますので、レンズを装用していることを担当医に必ず申し出て、その指示に従ってください。
- (5) レンズの加工、改造は絶対にしないでください。
- (6) レンズの左右を間違えて装用しないでください。
- (7) 激しいスポーツをする場合は、レンズがズレたりはずれたりすることがありますので注意してください。
- (8) 水泳や洗顔、洗髪をするときはレンズをはずしてください。
- (9) 点眼薬をレンズの上から点眼する場合、レンズがはずれやすいので注意してください。
- (10) レンズ装用中に眼に風があたると、ゴミが入りやすくなるので、風の強い日やオートバイ、自転車に乗るとき、またスキー、スノーボードをするときなどは風よけのためにサングラス、ゴーグルなどの使用をお勧めします。
- (11) 眼の乾燥を感じたら意識的にまばたきをしてください。
- (12) レンズに慣れるまでは、車の運転や機械操作などは行わないでください。
- (13) 車の運転中や機械操作中に、レンズがズレたり、はずれたり、あるいは急に見えにくくなったときは、周囲の安全を確認した後、運転(操作)を中止してください。
- (14) レンズは眼科医の指示により定期的に買い換えてください。
- (15) レンズケースは定期的に買い換えてください。
- (16) レンズはお子様の手の届かないところに保管してください。

### 5. 装用中の症状と対処方法

#### 1) レンズに慣れるまで

次の症状は、装用初期及び連続装用初期の起床直後に多くみられる生理的な症状です。レンズに慣れるにしたがい(通常数週間程度)解消されます。

酸素透過係数が低いレンズから本品に切り替えた場合、角膜が正常に回復することによって、異物感を感じることがあります。

- ◇軽い異物感がある ◇まばたきが多くなる ◇かゆみがある ◇涙が出る  
◇眼やにが出る ◇まぶしい ◇視力不安定 ◇めまい

## 2) レンズに慣れてから

症状	考えられる原因	対処方法
レンズの汚れ、くもり、着色、白濁	ケア方法が不適切 洗浄が不十分、化粧品・整髪料・タンパク質・ムチンの付着、体質によるもの	レンズを再度洗浄してください。
レンズの破損、変形、裏返り	レンズの持ち方や洗浄方法、保存方法が不適切	取扱説明書に基づき、正しく取扱ってください。
レンズの変色	過度な紫外線の暴露	レンズを交換してください。
視力不良、眼精疲労、頭痛、気分不良、めまい	レンズの破損、変形、キズ、異物や汚れの付着 レンズの度が合っていない レンズの左右入れ間違い レンズが裏返っている 眼疾患、体調不良	レンズの左右を確認し、再度洗浄してください。
乾燥感	レンズの破損、変形、キズ、異物や汚れの付着 涙液が少ない、レンズの乾燥(まばたき不足、冷暖房による乾燥、服薬(かぜ薬など))	レンズを再度洗浄してください。まばたきを意識的に繰り返してください。
眼痛、異物感、装用感不良、圧迫感、まばたきが多くなる	レンズの破損、変形、キズ、異物や汚れの付着 レンズの左右入れ間違い レンズが裏返っている 装用時間が長すぎる 眼疾患、体調不良	レンズの左右を確認し、再度洗浄してください。
しみる	ケア用品成分がレンズに残っている 化粧品、石けん、洗剤、化学薬品などがレンズに付着	すぐにレンズをはずし、大量の流水またはぬるま湯で眼を洗ってください。
充血、眼やに、涙が止まらない、眼のかゆみ	レンズの破損、変形、キズ、異物や汚れの付着 花粉症などのアレルギー 角膜の酸素不足、装用時間が長すぎる 眼疾患、体調不良	レンズを再度洗浄してください。
眼の異常(違和感、しょぼしょぼ感、チカチカ)、視力異常(暗黒感、視力低下、霧視(感)、ちらつき)	レンズの破損、変形、キズ、異物や汚れの付着 レンズの乾燥(まばたき不足、冷暖房などによる乾燥、服薬(かぜ薬など))	レンズを再度洗浄してください。まばたきを意識的に繰り返してください。

3) 症状の改善がみられない場合や、その他の症状がみられた場合は、すぐに装用を中止し、眼科医の診察を受けてください。取扱い方法・対処方法を誤ると、角膜潰瘍などの重い眼障害につながることもあります。

### 6. 高齢者・妊婦・産婦・授乳婦・小児等の使用

- (1) 高齢者等の使用で、自身での装着脱、レンズケアが困難な場合は、眼科医に相談の上、その指示に従ってください。
- (2) 妊婦・産婦・授乳婦(経口避妊薬を服用している婦人を含む)は、角膜形状が変化することがあるので、担当医又は眼科医に相談してください。
- (3) 小児が使用する場合は保護者の指導監視のもとに使用させてください。

### 7. その他の注意

【禁忌・禁止】に該当してなくても、病気、薬剤の服用や点眼薬による体調や眼の状態あるいは生活環境によってはレンズの装用に影響を及ぼす場合がありますので、眼科医に相談の上、レンズを使用してください。また、装用開始後にレンズの装用状態が変化することがあります。詳しくは眼科医に相談してください。

## 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

### 1. 未開封レンズの保管方法

直射日光を避け、室温で保管してください。

### 2. 使用期限

表示された使用期限内以内に使用開始してください。

(例：表示が『202007』の場合、2020年7月までに使用開始)

## 【保守・点検に係る事項】

継続して使用可能か、定期検査時等に眼科医の指示を受けてください。

## 【包装】

1枚入り

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

〔製造販売業者及び製造業者〕

東レ株式会社

〒103-8666 東京都中央区日本橋室町2-1-1

### 1. 症状に関するお問い合わせ

処方された眼科・クリニックに相談してください。

### 2. 製品に関するお問い合わせ

シード お客様相談室(ひとみコール)

電話番号：0120-317103

受付時間：9:00～17:00

注) 土日、祝日は除きます。

ホームページ <http://www.seed.co.jp>

〔販売業者〕

株式会社シード